



2025年1月14日

報道関係各位

応用地質株式会社

**JOGMEC が公募した洋上風力発電の導入促進に向けた
浮体式海底地盤調査実施者に採択されました**

応用地質株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:天野洋文、以下当社)は、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(以下、JOGMEC)が公募した令和6年度洋上風力発電の導入促進に向けた基礎調査に係る業務のうち、JOGMECとして初めて実施する浮体式海底地盤調査となる2件に応募し、いずれも実施予定者として採択されましたのでお知らせします。

【背景】

JOGMECでは、洋上風力発電事業の実施可能性が見込まれる海域を対象に、セントラル方式*として洋上風力発電の導入促進を図っています。今後、より水深の深い海域での洋上風力発電の導入を図るため、今回は浮体式のための海底地盤調査(物理探査)の業務委託先を公募しました。

*セントラル方式:風力発電事業の準備段階の調査や系統協議などを国が一括して行う制度。

【調査の概要】

公募資料における調査の概要を以下に示します。

件名	北海道岩宇・南後志地区沖(浮体):海底地盤(物理探査)調査
事業期間	(終期)令和8年3月20日
事業規模	9.5億円

件名	北海道島牧沖(浮体):海底地盤(物理探査)調査
事業期間	(終期)令和8年3月20日
事業規模	3.5億円

本調査では、浮体式洋上風力発電設備の基本設計(風車の配置位置、設置間隔等)に必要な海底地盤に関するデータを取得するため、海底地形調査、海底面状況調査、反射法地震探査(音波探査)等の調査を行います。

政府は洋上風力発電について、2040年までに3,000万kW~4,500万kWの案件形成を図っています。このため、今後は浮体式洋上風力発電の大量導入に向けた取り組みがますます重要になってきます。当社では、浮体式の普及に向けた効率的な調査方法として、具体的には深層まで測定可能な三次元地層探査や大水深海底微動アレイ探査および大水深表面探査などを開発し、最大の市場シェア獲得を目指しています。

【今後の展開】

当社では、今後も洋上風力発電における海底地盤調査を応用地質グループの重要な成長の機会の一つと位置づけ、さらなる設備投資と技術開発を進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■JOGMEC の公開情報:

- ・北海道岩宇・南後志地区沖（浮体）：海底地盤（物理探査）調査
https://www.jogmec.go.jp/news/bid/bid_10_01002.html
- ・北海道島牧沖（浮体）：海底地盤（物理探査）調査
https://www.jogmec.go.jp/news/bid/bid_10_01003.html

以上

【本件に関するお問合せ先】
応用地質株式会社 経営企画本部
井上由美
TEL:03-5577-4501
E-mail:prosght@oyonet.oyo.co.jp